

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	防災機能をもつ公園整備推進事業			事業番号	14-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課みどり再生整備担当	吉田 俊	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	4	災害に強い安全なまちづくり	
		施策展開の方向	1	災害から市民の命を守るまちをつくる	
		施策	14	いざという時の危機対応力の強化	
予算事業名	地域公園整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	-
関連法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱				
国・県の計画等	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)			計画期間	
関連個別計画	-			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市は、大規模地震対策特別措置法に基づき東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されています。また、東日本大震災等の大規模地震の相次ぐ発生により、都市公園における防災機能の整備・強化が求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市地域防災計画に基づく広域防災拠点、緊急避難場所等の役割を持つ都市公園の防災機能の強化を推進し、安全で安心できるまちづくりの実現を目的とします。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協同病院跡地における防災機能を備えた街区公園の整備を進めます。</li> <li>・既存の街区公園に防災機能を付加します。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	防災機能を持つ公園整備	用地買収、実施設計		公園工事	
	防災機能を持つ公園整備	街区公園への防災機能付加		街区公園への防災機能付加	
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	防災設備の整った公園数	1公園	3公園	4公園	

 事業実施 (Do) へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	(仮称)桜台方面公園整備事業については、H28に実施した実施設計に基づき、整備工事を実施します。既存の街区公園1公園について、防災機能付加工事を実施します。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	防災機能を持つ公園整備	用地取得、実施設計	工事
	防災機能を持つ公園整備	既存1公園への防災機能付加	既存1公園への防災機能付加
<b>実施した取組の内容</b>	(仮称)桜台方面公園整備事業については、H28に実施した実施設計に基づき、整備工事を実施しました。大塚戸東公園に防災機能付加(防災トイレ、かまどベンチ)工事を実施しました。		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>
			<b>28年度</b>
			<b>29年度</b>
	防災設備の整った公園数	1公園	3公園

	年度		28年度 実績				29年度 実績			
内訳	<b>事業費合計 (a)</b>		143,868	千円	25,154	千円				
	内訳	国県支出金 ①	48,330	千円	11,760	千円				
		地方債 ②	93,900	千円	11,800	千円				
		その他特財 ③	0	千円	0	千円				
		一般財源 (a)-①-②-③	1,638	千円	1,594	千円				
<b>国県支出金の内容</b>		社会資本整備総合交付金(都市防災総合推進事業、都市再生整備計画)								
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
人件費	正規職員		0.30	人	2,595	千円	0.30	人	2,619	千円
	その他の職員		0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.30	人	2,595	千円	0.30	人	2,619	千円
トータルコスト (a)+(b)				146,463	千円			27,773	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位		市民		単位	
		対象数	101,635	人	102,037	人				
	総事業費/対象数	1,441	円	272	円					

↓ 評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	(仮称)桜台方面公園整備事業について、H28年度に実施した実施設計に基づき、整備工事を実施しました。また、既存街区公園1公園について、防災機能の付加整備を行いました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input checked="" type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	C	他都市の事業内容等	他市における防災機能を有する公園の割合に比べ、市内で防災機能を有する街区公園は限られており、他市と比べ低い水準にあります。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	地域の緊急（一時）避難場所となる街区公園に防災機能を付加することは、災害に強いまちづくりを推進するうえで有効です。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	左記判断理由	(仮称) 桜台方面公園整備及び街区公園への防災機能付加については、国の補助金を活用し効率的に実施しました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	地域に身近な街区公園の防災機能の向上は、災害に強いまちづくりを推進するうえで重要なことであり、着実に進めていく必要があります。また、地域の防災意識を高めるため、防災訓練などの機会を通じて、施設の使用手法や機能の周知を継続的に図っていく必要があります。
次年度以降の取組の方向性	(仮称)桜台方面公園整備事業については、引き続き国の補助金を活用しながら、供用開始に向け整備工事を推進します。既存の街区公園1公園について、防災機能付加工事を実施します。
所管部長による総評	都市公園は、伊勢原市地域防災計画において、延焼防止などの防災空間としての役割や広域避難場所、緊急（一時）避難場所に指定されています。災害に強いまちづくりを推進するため、今後も必要とされる防災機能の強化を着実に進める必要があります。